

JKP

2014
春

JAPAN KARATEDO PROMOTIONS
TIMES

**教室出身の先生が
活躍中！**

半沢隆泰先生
深澤大喜先生 インタビュー

道場選抜 2014

第19回全国道場選抜空手道大会

JKPクラシック

JKP CLASSIC
IN OSAKA

待望の 関西地区開催！

<http://www.jkp.or.jp/>

悲願の全地区大会開催の瞬間

JKPクラシック 待望の 関西地区開催！

第1回 JKPクラシック関西大会

日時／2014年3月9日

会場／浪速中学・高等学校

浪速武道館（大阪府）

主催／NPO 法人日本空手機構



JKP CLASSIC IN OSAKA

2014年3月9日、浪速中学・高等学校 浪速武道館で「第1回 JKP クラシック関西大会」が開かれた。

関東、北海道で行なわれている当大会をぜひ関西地区でもという働きから、念願の開催となった第1回大会。滋賀県、京都府、兵庫県、大阪府、奈良県と範囲が広い中、延べ70名近い参加があり、大成功を収めた。

■独特の緊張感

2013年度、第10回目のJKPクラシック大会を記念し、北海道地区、関西地区でもJKPクラシックの開催をとの働きがありました。それにより、12月23日には北海道大会、そして今回の関西大会の開催となりました。悲願の3地区全ての開催になりました。

第1回の関西大会は、日本を代表する強豪校である、私立・浪速中学高等学校（大阪府）の多くのバックアップをいただきました。会場の体育館を貸し出していただき、また生徒さんには大会運営スタッフ、模範演武をしていただきました。

大会は、参加者のほとんどが初めての大会出場ということで、選手の皆さん、応援の親御さんたちも初々しい緊張感がありました。そのなかでも日頃の練習の成果を精一杯出そうという心意気で、熱気のある大会でした。

■各種目ダイジェスト

大会は全8種目、ここからは各種目のダイジェストをご紹介します。

●基本の部

3名と少ない参加でしたが、岩田悠希選手が



参加者のほとんどが初めての大会出場ということで、緊張感も感じられましたが、精一杯の力を出し切りました。



大会は、基本、形、組手の計8種目が行なわれました。



全国屈指の強豪校である浪速高校の選手が、模範演武をしてくれました。

相手に1本も旗を上げさせない圧倒的強さを見せ、優勝しました。

● 11級～9級 基本形の部

小泉龍之将選手が接戦のなか勝ち進み、決勝戦では同じ店舗の土井裕貴選手と対戦。3-2で勝利し、本番での強さを見せ優勝。

● 8・7級 形の部

川辺夏生選手が順調に勝ち進み、決勝戦はコナミ本山南の河村俐空選手と対戦。お互いにチントウを演武し、完成度の高かった川辺選手が優勝。

● 6・5級 形の部

このカテゴリーで唯一の女子である赤岸美紀選手が正確な技の美しさで決勝戦まで勝ち進み、スピードとパワーが持ち味の永尾弘毅選手と決勝戦を戦いました。そこでは3-2の接戦となり、赤岸選手が優勝しました。

● 4級～2級 形の部

スピードを生かし、正確なジオンを演武する赤岸龍一選手が決勝戦に進み、パワーが持ち味

の牛島滉介選手と対戦。最後まで正確に形を演武した赤岸選手が優勝。6・5級で優勝した美紀選手と、これで兄妹W優勝となりました。

● 1級・有段者 形の部

スピードを生かした1級の上田基央選手が有段者に立ち向かい、決勝戦の高橋りな選手とは接戦になるものの、勝負強さを見せて優勝。

●有段者 男子組手の部

喜多優作選手が安定した強さで勝ち上がり、上段蹴りを得意とする奥平昌希選手と決勝で対戦。相手の蹴りに対し、喜多選手が中段突きで確実にポイントを取り優勝。

●有段者 女子組手の部

2名と少ない参加でしたが、お互いに自分の技を出し合い接戦になりました。そのなかで、高橋りな選手がポイントを確実に重ね優勝しました。



JKP CLASSIC IN OSAKA



大会結果



基本

[優勝] 岩田悠希(コナミ生駒)
[準優勝] 鄭 叡晉(エル京都)
[第3位] 細野瑞人(コナミ江坂)



11～9級基本形

[優勝] 小泉龍之将(コナミ香里園)
[準優勝] 土井裕貴(コナミ香里園)
[第3位] 河合隆真(ビバ瀬田) / 善住謙星(コナミ香里園)



8・7級形

[優勝] 川辺夏生(ティップネス布施)
[準優勝] 河村俐空(コナミ本山南)
[第3位] 月森陽紀(コナミ江坂) / 樋口正太郎(コナミ生駒)



6・5級形

[優勝] 赤岸美紀(ビバ瀬田)
[準優勝] 永尾弘毅(コナミ香里園)
[第3位] 中東歩夢(コナミ香里園) / 大信龍太郎(コナミ生駒)



4～2級形

[優勝] 赤岸龍一(ビバ瀬田)
[準優勝] 牛島滉介(コナミ江坂)
[第3位] 伊藤直哉(エル京都) / 田中悠登(ビバ枚方)



1級・有段者形

[優勝] 上田基央(コナミ生駒)
[準優勝] 高橋りな(コナミ江坂)
[第3位] 木下璃久(エル京都) / 浅田不二子(エル京都)



有段者男子組手

[優勝] 喜多優作(コナミ香里園)
[準優勝] 奥平昌希(コナミ香里ヶ丘)
[第3位] 池畑海斗(コナミ香里園) / 木下璃久(エル京都)



有段者女子組手

[優勝] 高橋りな(コナミ江坂)
[準優勝] 浅田不二子(エル京都)





道場選抜 2014

第 19 回全国道場選抜空手道大会

日時 / 2014 年 1 月 19 日 会場 / 和光市総合体育館



19回目を数える全国道場選抜大会が、1月19日に埼玉県和光市で開催された。今年も全国各地から70以上の道場が参戦し、過去最多の1300名を超す参加があった。

本大会には当会員から27選手が出場し、全国トップレベルの選手に果敢に挑んだ。

道場選抜
Topic

1

全国優勝者続々出場のハイレベル！ 見ていて学べる大会に！

■新春の恒例大会 年々レベルが上昇！

毎年1月に開催される本大会は、新春の錬成大会で、北は北海道から、南は四国からと、全国各地から参加があります。形種目と組手種目、それぞれ幼年からマスタースまでの幅広い層が参加します。今年は過去最多の約1300名の参加がありました。

選手の皆さんにとっては、日頃の練習の成果を発揮する場、そして開催の時期が新春ということもあり、新年度に行なわれる都道府県大会や全国大会に向けた課題を見つける意味で臨む大会です。

年々参加者数が増えていくにつれて、競技レベルも見違えるように上がってきています。ほぼ全ての種目に全国大会の優勝・入賞経験者が参加し、その動きを間近に観ることができるため、全国トップレベルを肌で感じることができ、学ぶ事の多い大会でもあります。

本大会には当会員からも毎年多数の選手が出場し、果敢に挑戦しています。今年も強化育成選手を中心に27選手がエントリーしました。



全国から約1300名が参加。



全国大会優勝経験者が参戦し、ハイレベルな戦いです。



当会からは27名が出場し、果敢に挑戦しました。

小学6年生女子形 第3位

荒木美栞さん



道場選抜
Topic

2

果敢に挑む選手たち

激戦勝ち抜き2選手が入賞！

■荒木美栞さん、風格ある形で3位入賞

さすがの全国レベルに、各選手が苦戦する中、2選手が見事に入賞を果たしました。小学6年生女子形で第3位の荒木美栞選手、小学3年生男子組手でベスト8の星野友岐選手です。

荒木選手は、前回大会でもベスト8に入賞しており、今回も入賞、そしてさらなる上位進出に向けて練習をしてきました。

持ち味であるキレのある形に磨きがかかった荒木選手。そして特に目を引いたのが、小学6年生

とは思えない風格で、形に雰囲気を出せるところ。観る者を引き込む魅力十分の形で1回戦から3回戦まで相手を圧倒。準決勝に進出します。

センターコートに移って行なわれた準決勝、強豪・千葉県の萩山七帆選手と対戦。バッサイダイでの対決となりました。荒木選手も得意の形でのびのびと演武しますが、さすが強豪選手、1-4で敗れ、惜しくも決勝進出はなりませんでした。

昨年より1ランク上の第3位に入った荒木選手。道場選抜では初のメダル獲得で、着実な成長が結果になっています。4月からは中学生、心機



小学3年生男子組手 ベスト8 星野友岐さん

一転、ますますの頑張りを期待したいところです。

■星野友岐さん、持ち味発揮でベスト8

71名が大挙参加した小学3年生男子組手に出場した星野友岐選手。レベルの高い道場選抜大会に緊張の面持ちでした。1回戦、指示を出す土屋和人先生の「落ち着いて、自分のペースで」との声を受け、徐々にリズムを取り戻した星野選手。6-0で初戦を勝ちます。

すると持ち前のファイト溢れる戦いで、2回戦を勝利、3回戦では、一時劣勢に立たされるも上段への回し蹴りで逆転し勝利します。

準々決勝では惜しくも敗れましたが、本大会での初の入賞を果たし満足げの星野選手。気迫溢れる戦いぶりは見事でした。自分の組手が全国でも通用する事を実感できた、収穫の多い大会となりました。



優勝した選手が全国大会優勝経験者というハイレベルの小学6年生女子形。荒木美菜選手（右端）は大健闘の第3位。



71名の熾烈なトーナメントを勝ち上がり、見事ベスト8に輝いた星野友岐選手（左端）。



生徒から先生に
教室出身の先生が
活躍中!



現在、空手教室の出身者で、レッスンの先生となって活躍する方が次々と誕生しています。今回は、そのなかの2名の先生にお話を伺います。コナミスポーツクラブ手稲出身の深澤大喜先生と、コナミスポーツクラブ新札幌出身の半沢隆泰先生です。

2人も始めは生徒でした。その時の経験を生かして、大好きな空手に長く関わっていききたいと、先生になる道を選びました。

深澤大喜先生

■始めは、空手が嫌いだった

私が空手を始めたのは小学校5年生の頃です。やんちゃ坊主だったので、両親が礼儀作法を学ぶためにも何か武道をやらせようと考えて、空手を選んだのがきっかけです。

でも初めは空手が大好きで毎週1回の空手レッスンの日が苦痛でした。練習の最初に、ストレッチをやるんですけども、僕は身体が固いので、痛くて(笑)。それが嫌でしたね。

ですが、先生方も声をかけてくれて自分の事を理解してくれようとしているのが励みになって、中学生になると昇級審査で飛び級を何度もできるようになったんです。少しずつ空手がうまく出来ていることを実感して嬉しくなって、さらに組手を始めると空手が楽しくなってきて頑張ろうって思うようになったんですよね。

■レッスン教室から、空手の強豪校に

空手の魅力がわかりだしてきて、もっとうまくなろうと頑張り始めたそのときに、恵庭南高校のことを紹介してもらったんです。北海道で一番の空手道部があり、自分でも出来るのかなという不安もありましたが、頑張れば北海道チャンピオンになれるという期待もあって、そこに進学を決意しました。



高校3年時に国体に出場。左が深澤先生。

当然ですが、高校の初めはほんと辛かったですね。レッスンとは違って、練習のレベルはすごい高いし、練習時間もとても長かったです。家から高校まで2時間以上かかって通学していましたし、空手も頑張っ、勉強はそこそこ(笑)頑張っ。時間がなかったのを覚えています。

そんななかで、両親のサポートがすごいありがたかったです。私の心が折れそうなとき、喝を入れてくれたり、心の余裕を与えてくれたりしてくれました。

チームで全国大会に出ることもできましたし、そのレギュラーメンバーとして出場させてもらうことができました。

■先生と一緒に、全国大会に出れた

そして、高校3年生の時です。国体に出ることができたんです。北海道代表をかけた予選大会で優勝し、個人戦で初めて1位になったのがこの大会で



Taiki Fukazawa
先生から受けた愛情を
今度は自らの生徒に伝えたい

した。中学のときに夢見た北海道チャンピオンですよ！そのときの何ともいえない喜びと達成感がありました。初めて、今まで頑張ってきた努力、頑張った自分を認められた思いでした。

さらに思い出深いのが、そのとき、私が空手を始めた小学5年生からずっと教室で指導をしてくれた阿部夕姫先生と、一緒に国体に出ることができたことです。国体出場が決まった時は、夕姫先生には「やっと出れたね」と笑顔で言われました。心待ちにしていたんでしょうね。一緒に出れたことがこの上ないご褒美だと思いましたね。

そして国体では先生も5位入賞、自分も5位入賞できて、ほんと嬉しかったです。やっとなんか恩返しのできたのかなって感じです。照れくさくも賞状を持って一緒に写真を撮りました。

深澤大喜（ふかざわたいき）

生年月日：1990年11月29日 23歳

出身地：北海道札幌市

空手歴：12年

趣味：ダーツ

始めた年齢 11歳

11歳から15歳：コナミスポーツクラブ手稲

16歳から18歳：恵庭南高校空手部

卒業後、指導に就職

指導歴：5年

指導場所：あいらぼ、コナミ西岡、東苗穂、白石

■久々に感じる、レッスンの感覚

空手の先生になろうというのは、中学生のころからずっと思っていました。生涯空手に関わりたいと思っていましたし、空手の先生にずっと憧れていたんです。

空手レッスンの先生は、空手のこと以上に、空手以外のこともすごい気にかけてくれるんです。友達とけんかしたとか、学校のこと、家のことなど…そんな温かい先生になりたかったんです。

また、私は子どもがとても好きで、その必死に努力し成長する姿を見て自分も一緒に成長したいと思ったので、空手の先生を目指しました。

高校卒業のときに、夕姫先生に「空手の先生になりたいです」と電話をしました。先生も多分、僕の思いには気づいていたと思うので、その後は流れるように決まっていきました。

空手の先生になる前に、まずは指導者向けの講習があるんですけど、それも夕姫先生にさせていただいたんですよ。そのときは、久しぶりに先生に教えてもらうなぁと思うと同時に、こんなことを考えて、こんなことを思って、中学までの僕に接してくれていたんだなって、嬉しくて懐かしい思いでした。

夕姫先生から教わった指導の時のアドバイスの

なかで印象に残っているのが「子どもの目線になること」ですね。僕は特に背が高いので、上から話すのは子どもたちにとって威圧感があるかもしれません。しゃがんで、同じ顔の高さで話をすることはすごい気にしています。そういえば、僕が生徒だった頃も、先生がしゃがんで教えてくれたのを思い出しました。

■日々、子どもと一緒に成長

また、レッスンでは、オンオフを切り替えることを意識しています。自分が痛かった記憶のあるストレッチは楽しく（笑）、でも笑顔の中にも、空手道独特の礼儀作法は、そこは甘やかすことなくしっかりと伝えたいと思います。両親が僕に空手を習わせたきっかけと一緒にです。

今、先生になって5年が経ちます。初めは難しかったですが、伝え方の工夫が必要だなんて思いましたね。

実際に自分も動いて技を見せながら説明をするのですが、見せるだけじゃ伝わらないし、言葉で伝えるにも、子どもさんの学年によっても違いますし、それに合わせて説明の仕方を変えるのも必要と感じています。かといって、全てを説明するのではなく、子どもたちが自分で考えながら練習出来るようにすることも心がけています。

日々子どもと一緒に成長しているような気分です。学ばせてもらうことだらけです。子どもたちは発想豊かで、驚かされることも多々あります。

子どもたちの成長の場に居れるのはほんとよくて、空手でも、子どもたちがそれまで出来なかった動きが出来て、それを喜んだ姿、笑顔を見るのが嬉しい時です。みんなには、空手を楽しく長く続けてもらえるように祈っていますし、楽しく深澤先生

と空手をできたなかで、自分に負けない心を教えてもらったと思ってくれれば嬉しいです。

半沢隆泰先生

■先生の形に魅せられて

私が空手を始めたのは、小学校4年生からです。好きな漫画の主人公が空手を通して成長していく姿に影響を受けて、親にお願いして近くの空手教室に通わせてもらいました。初めは拳の握り方や突き方、蹴り足の形も丁寧に教えていただいた記憶があります。

そして、強烈な印象のある出来事があるんです。それは初めての昇級審査です。白帯の私が、一通り審査を終えた後に、先生が「ウンスー」という形を演武しました。それがものすごいスピード、迫力で、圧倒されたんですよね。先生が形をするのところがじっくり見るのも初めてでしたし、とにかくスゴイ！という強烈な印象なんです。漫画の世界が現実になっているような感じでしたね（笑）。

これで、ますます頑張ろうと思ったのを覚えています。「こんなカッコいい形があるんだ！ぜったいそうになりたい、空手を続けよう！」って思ったんです。そこから熱心になり始めました。

■一度、空手から離れる

とはいうものの、中学生になったときに、学校の部活のために、空手からは離れていました。ただその時にも、実は1級で辞めていたので、黒帯のあと一歩前というのがどことなく気になっていました。

高校に入学し、部活をどうしようかなと思って空手部を見学に行った時に、黒帯をとっていなかった



一度空手を離れた経験が
空手をより一層好きにしてくれた

半沢隆泰（はんざわたかやす）
生年月日：1991年7月10日 22歳
出身地：北海道札幌市
空手歴：11年
趣味：小説を読むこと

始めた年齢 10歳
9歳～13歳：コナミスポーツクラブ新札幌
16歳～18歳：札幌啓成高校空手部

指導歴：4年
指導場所：コナミ中央林間、青葉台、KITZ 金沢文庫、
メガロス鷺沼

私が小学校のときは、あまり上手くもなかったし、私よりももっと上手くて目立っている子たちが周りにいたから、僕の印象は薄かったんじゃないかなと思うんですよ。印象に残っていなかったとさえも思っていました。でも、そういう自分でも見てくれたんだって、そのことがたまらなく嬉しかったんですよ。

その後、先生から指導を受けていくにつれ、こんな素敵な空手の先生になってみたいという憧れが強くなっていきました。

こと、途中で辞めていたことがすごい胸の中でひっかかって、「もう一回やりたいな」と思って、高校の空手道部に入部しました。

■6年ぶりでも覚えていてくれたことに感動

そして高校3年の時に、小学校の時に空手教室で一緒にやっていた友人から、その時の先生が近くの体育館で空手指導をやっていることを聞いて、その練習に行ってみようと思ったんです。

6年ぶりに会うことで、やや恐る恐るな部分もありました。でも、体育館で先生に目が合って一番に、「おーたかやす！久しぶりだな～！」って最初の一言を聞いた時に、「覚えていてくれたんだ！」って思って、驚いたのと同時に、それがものすごく嬉しかったんですよ。

■緊張の面接…のつもりが

なので高校卒業後、「空手の先生になりたい」と履歴書を持って面接にいきました。スーツも着て、緊張感で胸がドキドキでした。

ですが、その緊張感は無用でした。意外な雰囲気。私はもちろん思いを伝えましたが、なんかウエルカムな雰囲気なんですよ。

後にその時のことを聞くと、履歴書を事務所の先生方が見たときに、「あれ、半沢だ！」ってみなさんで大騒ぎだったそうです。小学生以来何年も会っていない先生も居ましたが、忘れていた人なんて

誰一人いなくて。僕が成長してたこと、そしてまた先生として頑張りたいということが嬉しかったとも聞きました。

僕が言うのもなんですが、採用という他人行儀な表現よりも、一緒に空手をした仲間とまた空手ができるような印象だったそうです。

■自主性が成長の秘けつ

初めは北海道での指導でした。私は子どもが好きで、小さい頃からちびっ子の面倒見や、ふれあうことも多かったのが得意だと思っていたのですが、最初の数ヶ月間は、ほんと、何も出来ませんでした。

空手の突き蹴り以前に、まずは気をつけや並ばせることもできませんでした。話しかけ方も戸惑って、一緒に指導をする先生の先輩に話し方のアドバイスをいただくんです。ですが、なんかそれを意識しすぎて上手く話せなかつたりした時もありましたね。

コミュニケーションは大事だなって思いました。まずは空手を教えようというよりも、指導前、指導後、休憩中、なるべく多くの機会を作るんです。「今日、学校でどうだった？給食なんだった？」とか、多くの話す機会を作っていました。

今も、メッセージが伝わっていることが嬉しい時です。私は、その都度細かく言うのではなく、自ら気づいて自ら直すことができるような言い回しをしています。生徒が受動的なままではなく、能動的に練習できるようにしてもらおうと心がけています。これは空手でもそうですし、生活面でも活きるのではないかと思います。

空手を例にしますが、大会とかでいい結果を残す子は、「なんで良かったのかな？」って聞くと「練習したもん！」と、レッスンだけでなく、家でや



生徒のやる気を促す指導法を、日々模索しています。

ってきたっていうことが多いそうです。

私も、「今週は〇〇をやりました。じゃあ、〇〇をもとに来週は次のことをやります」と伝えることが多々あります。すると自発的に家で復習して、そして翌週、前の週にできていなかったことができています。自分の意志でやってきたんだなっていうのが実感できるとほんと嬉しいんです。

■空手をやってもいなくても、生徒のことはずっと気になる

今は関東に引っ越して、神奈川県を中心に指導をしています。

どこかで、私を教えてくださった先生を目指している部分はあると思います。私のように、中学で一度空手から離れる子もいます。でも、その子のその後も気になりますよね。もちろん、空手も続けてほしいです。魅力はいっぱいあります。でも、「やりたいことを見つけられてよかったな！ぜひ何かそれで賞をとったとか、得るものがあったら教えてな！」って気持ちです。そうも伝えます。

私は空手の先生ですから、まずは空手を通して、発見や得るものがあれば嬉しいです。そして一人でも多くの生徒に、「半沢先生から空手が習えて良かった」と思ってくれればと思っています。



J K P 指定防具 導入されました！

- ・ヘッドギア
 - ・拳サポーター
 - ・ボディープロテクター
 - ・シンガード
 - ・ステップガード
- 5点セットになります。



推奨サイズ	対応身長
S	150cm未満
M	150cm～170cm
L	170cm以上

転倒事故による後頭部へのダメージを緩和し、蹴りの多様化が進む現在の空手道競技においてより安全に練習に臨むことが出来ます。

現在のルールでは、上段の攻撃は触れた時点で反則となりますので顔面を保護する必要がなくなりました。

価格も、全空連検定品で揃えるより大変お安くお求め頂けます。

価格：15,000円 (消費税・送料込み)

※赤、青のどちらか1セットになります。

きりとり

JKP指定防具セット 発注書 送信先FAX番号：03-6856-4474

お名前	様	身長	cm	所属教室名
住所				電話番号
色	赤・青	サイズ	S・M・L	収納袋の有無 (+1,000円) 有・無

※納品書と振込用紙を同封致しますので、後日指定口座へのご入金をお願い致します。

株式会社強者 物販事業部 TEL: 03-3524-8172 E-mail: shop@tsuwamono.jp